

・17/3/17 名古屋市議会経済水道委員会メモ（名古屋城部分）  
（名古屋市民オンブズマン作成）

藤沢ただまさ(自民・南区)：名古屋城 展示施設とは  
室長：障壁画を展示

田辺雄一(公明・千種区)：きんしゃち横町 辞退した業者があったと聞いたが  
主幹：市長 中部経済連合会 忘年会

新東通信社長「名古屋城きんしゃち横町 辞退業者があった。

すみやかに木造天守閣を進めてほしい」

田辺雄一(公明・千種区)：募集時、担保はしていたのか

主幹：募集時、担保はしていない

田辺雄一(公明・千種区)：一切関係ないのでは

主幹：そのとおり

田辺雄一(公明・千種区)：どう思うか

所長：関係なく募集した

新東通信は木造復元が議論されていることを知りながら応募し、選ばれた

一日も早く木造復元してほしい

田辺雄一(公明・千種区)：名古屋市は木造復元確約していない

事業者が確約しているのか

所長：ないと認識している

田辺雄一(公明・千種区)：社長は事態を見守っている。議会に責任があるわけではない

経営者 天守は目玉 いったん解体 集客率・売りに影響

テナントにしてみれば重大 つらさはわかる

合意形成せずに進める当局が悪い

議会に責任が押しつけられているよう

そんなことはそちらの話 議会に言われても困る

局長：新東通信がご心配 丁寧にご説明

進捗状況をご説明する

田辺雄一(公明・千種区)：評価委員 2022年にすることで意見はなかったか

所長：なかった

田辺雄一(公明・千種区)：「意見がなかった」報告はなかった

主幹：評価委員 2つ 2/9 完成期限を見直すこと

工程の見直し いかがか

田辺雄一(公明・千種区)：完成期限をずらすことについて、報告がなかったのではないか

主幹：法的整理をした上で、市の見解を説明した

学識の皆様 特に異論はない 説明した認識

田辺雄一(公明・千種区)：資料添付されていない 議事録でわかるのか

意見聴取会 資料はどうなっているのか

主幹：第1回 平成27年11月実施 議事録

第5回 2/9実施 当初の内容をプロポーザルにあたって 9月 2020→2022

継続審議 11月継続審議 2022年12月 評価委員に説明した

田辺雄一(公明・千種区)：議事録2ページ お手元資料1とはなにか

主幹：資料1 学識の皆様方に名古屋市としての完成期限の見直しとしての見解を示した

プロポーザルの公平性 問題ないという見解を説明した

田辺雄一(公明・千種区)：評価委員の参加者の中には弁護士らもいた

公平性、法的整理 何も意見がない わからない

この先生は耐震、法律関係大森先生

法律のことがわかるかたはいないのではないか

所長：当日参加者には法律関係者はいない

技術的観点から完成期限の見直しについて検討

法的側面を評価委員の意見を聞くように

特に意見はなかったというのがその日

田辺雄一(公明・千種区)：局長に聞く 継続動議 評価委員に意見を聞け

法律がわかる人がいないのは問題

「専門外なので答えようがない」 なぜこういうことになったのか

局長：当日は来ていなかった

事前には説明していた。その場ではうかがえなかった

技術的な整理

田辺雄一(公明・千種区)：何のための意見聴取会

議事録を残して、発注者の恣意を防ぐ

プロポーザルの公平性

2/9聴取会では欠落している

主幹：技術的観点から聞いた

田辺雄一(公明・千種区)：プロポーザルの公平性 法的な説明

わかる方がいない 瑕疵がないのか

所長：意見聴取を行っている

技術的な点

法律 大森先生ほかにも聞いてまとめている

評価委員の先生に説明して伺った

田辺雄一(公明・千種区)：よろしくない

何のために議事録に残すのか

誰が保証するのか、われわれに明らかにするのか

大森先生がなんと言っていたのか一言も聞いていない

継続動議 公平性も意見聴取を

公取に聞かなくてよいのか

法律家 除外して

一言も発言がない

答弁では抜けている

意見 なんとやったのか説明がないし、確かめようがない

そういう形の意見聴取会を開いた

聞くことは不可能であったと言うことでよいか

所長：基本的には技術的な点を聞く

法的な面を説明して、意見を聞いた

田辺雄一(公明・千種区)：大森先生には声をかけたのか、日程が合わなかったのか

所長：大森先生に法的指導をいただいた

大森先生以外に来ていただいた、大森先生には個別に聞いた

田辺雄一(公明・千種区)：ガイドライン 恣意を廃する

いろんな分野の専門家 自分が専門家ではないところは口を挟まない

法的な意見 求める姿勢がなかったのではないか

主幹：評価委員に何を聞くか

ガイドライン 評価委員 意見聴取 個々の事業の達成可能性、事業可能性

必要性 審査を実施する

工程表がずれた

評価をいただいた

田辺雄一(公明・千種区)：法律的なことを答える人がいなかった

継続動議を出す我々からは、意見を述べる人がいなかった

所長：意見聴取会として開いた

法律の専門家ではなく、その他の専門家に意見をいただく

法律の専門家には別途相談して意見を聞いた

田辺雄一(公明・千種区)：意見聴取会を開く意味がない

意見はなかった。

法律的に意見を述べる人はいなかった。

ブラックボックス。

継続動議に対する返事。

市長「中部地方整備局から技術提案交渉方式を提案された」

だれ、いつ、どんな形で紹介されたか

主幹：市長に確認したが、H27.7 どうすればよいか

契約方法全般について、市長が中部地方整備局長に聞いた  
様々なもの 技術提案交渉方式

田辺雄一(公明・千種区)：局長の名前は 引退されていると聞いたが

主幹：当時は八鍬隆局長

田辺雄一(公明・千種区)：土木しか実績がない、建築は初めて  
二重三重にハードルが  
配慮が足りなかったのではないか

主幹：意図は聞いていない

田辺雄一(公明・千種区)：中部地方整備局長がどう聞いたのか

主幹：わかっていることはない

田辺雄一(公明・千種区)：名前を知っておきたかった

国にも言わなければいけない 安易に地方自治体にさせるな  
リスクを説明しないと  
最初のとっかかりを作ったのはこの人

江上博之(共産・中川区)：収支計画 財源フレーム

366 万人 2 万人アンケート資料 360 万人

収入 期限が変わってきている

最初の年は 8 ヶ月

2 万人アンケート 980 億

今回 1020 億

主幹：2 万人アンケート H27 174 万人を元に算出

第 1 期公開を元に 360 万人

現在 366 万人 11 月定例会 H28 伸び 200 万人を上回るだろう

江上博之(共産・中川区)：運営管理費 違いが出ている

主幹：最新の例

江上博之(共産・中川区)：委員会で説明はあったのか

主幹：口頭は初めて 資料は書いてあった

江上博之(共産・中川区)：押し上げる要素が理解できない

基本協定 どのようなものか

今まで説明したことはあるか

主幹：特段説明していない 国のガイドラインに従う

江上博之(共産・中川区)：基本協定書はどういうことを書くか

基本設計だけでなく、実施説明書に書いてある

基本協定の締結

どういう項目で、どういう影響を与えるか

江上博之(共産・中川区)：今後の流れ

主幹：可決されれば設計に入る

あわせて今後設計ができあがった際、工事契約をする  
価格交渉をする

設計契約から工事契約を結ぶルールが基本協定書

江上博之(共産・中川区)：505億も入るのか

主幹：2022年12月と505億を書く

江上博之(共産・中川区)：そこが問題

資料要求 言われた項目、工事契約 中身

505億 どういう意味があるのか 資料要求

主幹：主な中身

丹羽ひろし(自民・名東区)：金シャチが降りてきたときの資料

釈然としない でこぼこが大きい

よめない

今回の市が試算したものか味したのか

主幹：他城郭 1年間の実績を踏まえた

丹羽ひろし(自民・名東区)：写真がある 2の丸入れない

主幹：新世紀名古屋城博の写真を出す

丹羽ひろし(自民・名東区)：ボストン美術館予測 事務所を作成

立派な試算書か

主幹：ボストン美術館 準備会で作った

シンクタンクにお願いしたものではないと聞いている

丹羽ひろし(自民・名東区)：ボストン美術館閉鎖

収支は非常に大きなもの 市長「505億金儲けの道具」

366万人がずっと続く 「はいそうですか」腹に落ちない

藤沢ただまさ(自民・南区)：2年近くやってきた

資料を見ても、長期間予想は難しい

増えれば言うことはない 予想より少ないことも

入場者数 少ないとした場合、赤字となる場合

- ・赤字となってもやるべきだ
- ・赤字にはならない
- ・赤字ならやめる

どれなのか

所長：経済効果ではなく、名古屋の文化、名古屋の発信  
赤字にせずにやっていく

藤沢ただまさ(自民・南区)：努力は当然

結果的に予想より少ないこともあり得る

それでもやるのか

日本総研もわからない 我々もわからない 誰もいない

「赤字でもやるのだ」のか？

「仮に少ない場合、やるべきこと」発言はない

そういう観点は必要ではないか

局長：ご指摘の部分はその通り

私は、赤字でもやるべきだと思う

文化を後世に残す

採算ベースに乗らなくてもやるべき

藤沢ただまさ(自民・南区)：市長に確認してほしい

別の話 4月に選挙がある 常識的に言うと、選挙前は骨格予算

誰がなるかわからない 足を縛らない

市長になるかもしれない、ならないかもしれない

この案はここまで来た以上、市長選後にして、新市長の判断にすべきでは

4月選挙を経れば、河村市長は公約で訴えるだろう

市民のお墨付きをえることになる

民主主義に重きを置くのなら選挙以降に判断を送るのも1つではないか

局長：骨格予算という考え方があるのは理解

今年1年携わっている

「市長が替わったとしてもやるのか」私どもはやると答弁

継続して事業をする考え方

藤沢ただまさ(自民・南区)：長期予想 次の市長も責任が持てない

スタートは大事

専決にするというマスコミ報道

スタートが専決でいいのか

議会で諮るにしても、なるべく多くの人の賛同を

関連議案も次々出てくる

ここまで来た 2.3ヶ月 なぜ急がなくてはいけないのか

こととしては一緒

宝が変わるわけではない

それでも3月

無駄かもしれないが、市長に聞いてほしい

なるべく多くの人の賛同  
専決は議会としてはいいとはいえない  
思いはわかった

田辺雄一(公明・千種区)：33 ページ、34 ページ  
財源フレーム案

366 万人と、日本総研 345 万人  
公債償還金 一般会計から金を借りる  
そういった事態は生じないということか

主幹：H36 以降 平均 345 万人 償還 50 年で終わる

田辺雄一(公明・千種区)：何万人割り込むとそういうことになるのか

主幹：おおよそ 330 万人を下回れば 50 年で償還できない

田辺雄一(公明・千種区)：一般会計から借りてきて

人件費 木造復元に関する費用  
財調基金から借りてきてか

総務課長：人件費 使用料で返す

田辺雄一(公明・千種区)：財調基金で間違いないのか

345 万人と 330 万人 15 万人しか変わらない  
手法 一般会計 億単位の予算 自由になる幅が硬直化  
財調基金から借りてくるでよいか

総務課長：6 月提出に提出したものなので財調基金

一般的には一般会計

田辺雄一(公明・千種区)：まかなえなくなった場合、違う形か

主幹：その場合は当初予算で

そうならないように努力

田辺雄一(公明・千種区)：財福の委員に話をしたが、どうなっていくかわからない

斉藤たかお(自民・中村区)：観光その他債 償還は 50 年

主幹：20 年起債 借りた期間は 40 年

償還が終わるのが 50 年

斉藤たかお(自民・中村区)：最近出てきたもの

505 億 償還 40 年 枠はあるのか

主幹：正式に総務省と相談していない

現時点では情報提供している

斉藤たかお(自民・中村区)：総務省 H29 観光その他債総額は知っているか

主幹：知らない

斉藤たかお(自民・中村区)：134 億円。

財政当局、総務省 観光その他債 一度総務省に文書で確認してもらえないか  
はっきりとした総務省 505 億償還 40 年がよいのか

主幹：505 億円観光その他債で考えている

財政局とともに総務省に話した

財政局も「まだ議決されていない」

「持ってきても話にならない」ではない

収支計画を持って行けば検討

斉藤たかお(自民・中村区)：議決してできなかった

これくらい大きなことができるのか当たっていただけないか

主幹：いっぺん 505 億ではない

財政局と調整して方向

斉藤たかお(自民・中村区)：完成期限の見直し 前も問題

公取と国土交通省に聞いたか

主幹：基本的には法令等に反するものではないので、名古屋市の判断

斉藤たかお(自民・中村区)：「基本的に」がつく

名古屋市が決めてから でよいか

主幹：公取、国土交通省は後々判断いただくわけではない

裁量の範囲

斉藤たかお(自民・中村区)：いつ、だれが、どのようなことを言ったのか

国土交通省も 課くらいは入れてほしい

主幹：日付と方法、内容を資料で出したい

田辺雄一(公明・千種区)：市長選挙のタイミング

その通り 市長選挙がある

別の市長が選ばれる可能性 躊躇

2026.27 呼びかけ 市長が耳を傾けた

議案の取り下げをしなかった 信義誠実の原則

最終的に市長に責任

今回木造天守が可決した場合、市長選で河村市長以外が選ばれ、最終的に木造にしない  
場合

その方に及ぶ責任

主幹：竹中か

田辺雄一(公明・千種区)：市長

主幹：契約約款に基づいた損害賠償

田辺雄一(公明・千種区)：今の段階は契約していない

正式な契約は交わしていない



市長は心配している

議決すれば契約する 法的にはきちんとしたもの

竹中の責任ではなく、市と市長の責任

今市長が議案を取り下げたリスクと、別の市長が辞めるというリスクはどっちが大きい

主幹：簡単に比較できるものはないが、契約した後やめる方がリスクが大きい

田辺雄一(公明・千種区)：日立 政治的判断で止めた 3.8億

10億の契約の後 仮に別の人が止めたらリスクが大きい

当局は続けていく

市長が止めると言えば止めるしかない

陽子線がんでも当局は止めたはず 3.8億訴訟

今のリスクよりうんと大きいもの 次の市長に負わせることになる

丹羽ひろし(自民・名東区)：12/5 市長会見 「木材は買ってある」

当局は訂正したが、市長は訂正したか

所長：市長は訂正していない

丹羽ひろし(自民・名東区)：10億は設計

材木は買ってある

補償の対象か

所長：契約は議決のあと 木材は含まれない

丹羽ひろし(自民・名東区)：設計だけ

主幹：契約後任意解除

既契約+未来も 竹中からは損害賠償される可能性

我々としてはないと理解

丹羽ひろし(自民・名東区)：文書であるのか

木材だけで200億の単位

主幹：予算が条件 基本的にそういったことはない

斉藤たかお(自民・中村区)：10億円認めると

外部エレベーター撤去 仮設 今回に含まれるのか

主幹：仮設等設計費 解体、本体は含まれている

斉藤たかお(自民・中村区)：外部エレベーターはそのままか

城の形は変わらないのか

主幹：取り壊しをする工事費はない

やっていくための設計費

丹羽ひろし(自民・名東区)：技術提案交渉方式 フル装備でやること 怖さ

後世に大丈夫か

市民から反対の意見が続々来る

皆さんから意見は来ているのか

所長：市民の声 賛成、反対来ている

賛成 名古屋に自慢できること

反対 巨額なかね 福祉に使ってほしい

丹羽ひろし(自民・名東区)：木造を反対している訳ではない

技術提案交渉方式で期限を切って すごく不安

僕のところには賛成はない

どんな意見が来てはまとめてあるか

主幹：市民の声はまとめてある

丹羽ひろし(自民・名東区)：内容と割合がわかって

主幹：主な意見で提出

丹羽ひろし(自民・名東区)：観光文化交流局 不透明ばかり

議会審議でなかったもの

一つ一つ腹に落ちるように

審議ができない

田辺雄一(公明・千種区)：名古屋城来場者数 なくなってしまうのではないか

駆け込み需要 どうだったか

所長：指摘があったので 3/3.4.5 改札、案内、警備員、ガイドボランティア

107人に聞き取り

駆け込み需要 107人 18人から声があったと聞き取った

田辺雄一(公明・千種区)：スタッフ 107人のうち 18人から聞いたのか

所長：何人から聞いたというのが 18人

田辺雄一(公明・千種区)：耐震が悪いと市長が言い散らして

ある意味入場者数の増につながったと聞いている

3/21 (火) 10時～